

# 生理の貧困

上田染谷丘高等学校 1年 中島優芽

# 課題に対する番号

1 貧困を  
なくそう



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



# テーマ設定の理由

- ・ 女性の中には生理用品にかかる費用に悩む人がいるから
- ・ それに加えて給料が男性より安く、更につらい思いをしている女性がいると思ったから

# 現状

- ・ 同じ仕事でも男性より給料が安い
- ・ 生涯で生理用品に50万円以上のお金を費やしている（個人差あり）
- ・ 生理用品を買うために他の何かを犠牲にしたり生理用品なしで済ませたりしている女性もいる（特に学生に多い）
- ・ 国によっては税金を免除している国もある中で、日本は新聞が軽減税率の対象になっているのに生活必需品である生理用品が軽減税率の対象となっていない

# 課題

- ・ 男女の給料の差をなくす
- ・ 生理用品にかかる費用による負担を減らす
- ・ 生理用品を買うために他の何かを犠牲にしたり、生理用品なしで済ませたりせずに、十分な数を手に入れられるようにする
- ・ 生理用品を軽減税率の対象にするべき

# 解決策

- ・ 男女関係なく実績や労働時間等で給料を定める
- ・ 学生は学割を利用可能にするなどして安く購入できるようにする
- ・ 学校や職場での生理用品の無料配布をもっと進める
- ・ 軽減税率の対象とするために女性の政治参加を増やす（生理用品を買えずに困っている人が多くいるという現状を知ってもらい、国を挙げて変えていく）

# 感想

- ・女性にとっては欠かすことのできない生理用品が軽減税率の対象になっていないのは大きな問題だと感じた
- ・様々なことを調べていく中で、単純計算でも生涯で50万円以上費やすと知って驚いた
- ・軽減税率の対象にするには女性が声を挙げるべき。だからこそ選挙などを通して政治に参加していくことが大切だと思う
- ・日本以外の国でも同じような悩みを抱える女性がいることも合わせて知って世界的に見ても大きな問題なんだと感じた